

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら

No.74

平成 26 年 2 月 15 日発行
(平成 25 年 12 月議会を掲載)

鹿嶋市議会の新しい広報紙「とびら」をよろしくお願ひします。

新しい市議会だより、
生まれました。

特集!!

市民報告会 …… 2

12月議会概要 …… 6

委員会の審査 …… 8

これが知りたい!
一般質問 …… 11



△鹿嶋市商工会館

議会改革の経過と 災害復興の取り組みで

「市民報告会」 を開催しました。

「平成25年 市民報告会」は、11月16日に鹿嶋市商工会館と大野ふれあいセンターの2カ所で開催しました。

今回のテーマは「議会改革の経過」と「災害復興の取り組み」で、議員からの報告に続いて参加者の皆さんからご質問やご意見を伺いました。

皆さんからのご意見は、市議会への政策提案として受け止め、今後の議会活動にいかしていきます。



△根崎議長のあいさつ

・・・いただいたご意見など・・・

【鹿島地域】

とき 平成25年11月16日（土） 10:00～
ところ 鹿嶋市商工会館3階 多目的ホール
参加者 17名
出席議員17名

田村、内田、根崎、池田、内山、田口、
坂本、立原、桐澤、篠塚、小古井、西塚、
小池、山口、出頭、宇田、佐藤

ご意見など②

一問一答方式は傍聴者にとって
わかりやすい。

ありがとうございます。これから、市民に開かれた議会を目指して議会改革に取り組んで参ります。

ご意見など①

インターネット中継は、中継されている時間帯は若い人は働いていて見ることができない。
広報活動は、より早く、より正しく、よりわかりやすくが基本。検討してほしい。

A 一般質問については、録画配信を検討中です。

また、出来るだけ早く議会だよりを市民の皆さんにお届けするため、発行日の前倒しを検討しています。

平成25年12月議会の一般質問音声の配信を始めました。
鹿嶋市議会ホームページでご利用いただけます。

ご意見など④

一般質問の答弁の中で「検討する」となった事業が、その後どのようになったか市民は知ることができない。自治会に未加入の家庭が増えているし、市内でもFMかしまを受信できない地域がある。情報を伝達する媒体の効果について把握しているのか。

A 一般質問の「検討する」という答弁については、議会だよりにその後の結果などを載せていくことを考えています。

議会だよりは現在、区長配布ですが、新聞折り込みをはじめ、多くの方が見ることのできる方法を調査しています。

ご意見など③

あきる野市を視察して、参考になったことは。

A (鹿嶋市議会に比べて) 広報紙の発行が1ヶ月早く、鹿嶋市議会も発行日の前倒しに取り組みます。

また、広報紙についてのアンケートを実施したり、特定の読者層をねらった特集記事で読者の拡大を図っていたりと、大変参考になりました。

ご意見など⑤

救急医療体制の改善を望む。

A 2次救急医療については、当面、小山記念病院、白十字総合病院、神栖済生会病院、鹿島労災病院の輪番制で実施。3次救急医療については土浦協同病院などに対応をお願いしています。議会もさらに働きかけをしていきます。

すぐに結果が出るものや出ないものがありますが、できる限り、議会だよりなどでお伝えしていく方針です。

ご意見など⑥

大船津に日本一の鳥居ができたが、駐車場、トイレ、自販機がない。



△平成25年6月に完成した一の鳥居

A 鳥居に関する3点については、市へお伝えします。

2次・3次救急医療とは？

2次救急医療は、入院治療を必要とする患者に対応する機関。都道府県などが定めた医療圏域ごとに整備する。

3次救急医療は、集中治療室で加療する必要があるなど、重篤な患者への対応機関。

平成25年9月の議会で、議員が提出した「茨城県鹿行地域における救急医療体制の拡充を求める意見書」を可決し、厚生労働大臣をはじめとする関係機関へ送付するなど働きかけを行っています。

ご意見など⑦

災害復旧は今年度中に終わるか。

A 公営住宅の整備、道路斜面对策、自主防災組織、津波や液状化対策については、引き続き取り組みが必要です。

ご意見など⑧

国や県へ要望書を提出しているが提出しただけになっている。

A 結果がわかったものは、議会だよりなどでお知らせできるよう改善していきます。



△大野ふれあいセンター

【大野地域】

と き 平成25年11月16日(土) 14:00～
 ところ 大野ふれあいセンター多目的ホール
 参加者 17名
 出席議員 17名
 風間、田村、内田、根崎、内山、田口、
 坂本、立原、桐澤、篠塚、小古井、西塚、
 小池、山口、出頭、宇田、佐藤

ご意見など⑩

今ある施設を改装するなどして、博物館をつかってほしい。

A 要望として、議会から市へお伝えします。

ご意見など⑨

市民報告会以外で市民の意見を収集する場はあるのか。また、行政区単位での開催など、市民の意見を聴く場を増やすべき。PRも足りないのではないが。

A 公民館単位や各種団体単位などでも開催するのを感じています。次回開催方法については検討します。

ご意見など⑫

第三次総合計画は立派なものだ。ぜひそうありたい。しかしコミュニティのレベルを考えたとき、市の思うようにはいかない。

A 地域コミュニティの崩壊は全国的な問題で、災害や福祉などのあらゆる分野において影響があると思います。東日本大震災をきっかけに、あらためてその重要性を強く認識しており、地域コミュニティの推進は市政における大きな課題の一つだと捉えています。



△平成24年度から33年度の鹿嶋市総合計画

ご意見など⑪

先進地視察を行っているが、それをどのように活かしているのか。

A 先進地視察は、市政の課題などについて事例調査や意見交換を行うことで議員の見識を深め、鹿嶋市の発展につなげることを目的としています。

最近の事例では、平成25年6月に制定した議会基本条例や市民報告会でスクリーンを使用し、わかりやすい説明をしたことがその成果です。

ご意見など⑬

東日本大震災の際に、大志崎は銚田から電気をとっているため、停電が長引き、給水や避難所などの情報も届かなかった。市内の端にある地区は、状況を確認して対応してほしい。大野地区には高齢者も多いので、民生委員が回ったほうがよいのではないかと。

A 高齢者全員のお宅を民生委員などが回ることは難しく、区単位や公民館単位を考えています。また、隣近所との助け合いが必要になってくると思います。

ご意見など⑭

残土問題に対して、議会からもっと強力な意思表示をしてほしい。

A 条例により市外からの搬入は禁止されました。市と議会で協力して対応し、改善しつつあります。今後も市へ働きかけ、警察の協力をいただきながら対応していきます。

議会改革 あれこれ

1 一問一答方式の導入

これまでの一般質問は、全ての質問項目を一括して質問し、一括して答える方式だったため、傍聴者にわかりづらいものでした。

現在は、一問ごとに質問し、その都度答える方式に変更しました。

2 議会基本条例の制定 (平成25年6月21日制定)

議会や議員のあるべき姿を明らかにし、今後の鹿嶋市議会の進む道を追求めるために制定したものです。

3 市民報告会の定期開催

議会の活動の様子を、定期的に市民の皆さんにお知らせし、また、市民の皆さんからの意見を議会活動に反映させる仕組みを確立します。

4 議会広報の見直し

会議の結果などをより早く、よりわかりやすく皆さんにお知らせできるように、議会広報委員会で検討を進めています。議会中継を含めホームページの充実も図る予定です。

5 その他

さらに「会議の準備などが効率的になり、経費削減にもつながるようにタブレット端末を活用する」、「一般質問の録画中継を配信し、好きな時間に見られるようにする」などを検討しています。決定次第、本紙でお知らせします。

ご意見など⑮

ピーマンやサツマイモの商品開発をしているが、販売先で悩んでいる。鹿嶋市に道の駅はできるのか。

A 認定農業者会議で、JAしおさい鹿島農産物直売所の隣に直売所をつくるという話がありました。加工場なども設けてもらえるよう要請していきます。

ご意見など⑯

大志崎は、風向きによっては防災無線が聞こえない。

A 市の防災無線の内容は「かなめーる」でも確認できるので、利用してください。

▶かなめーるのホームページ

「かなめーる」は、市が実施している情報提供サービスです。携帯電話などにメールで情報が送られますので、事前に登録が必要です。

鹿嶋市のホームページで登録の方法などを案内しています。

ご意見など⑰

大野地区では、遠距離通学の小学生のためにスクールバスが走っているが、利用は有料。無料化を望む。

A 無料化にすることを、すでに市に働きかけをしていますが、まだ回答がありません。引き続き市へ要請していきます。

- 議会改革検討協議会の今後の活動 -

平成24年9月に発足した議会改革検討協議会は、一問一答方式の導入や議会基本条例の制定、そして今回の市民報告会開催の中心的役割を担ってきました。

今後は、政治倫理向上の調査研究や効率的な議会運営（タブレット端末を使用して、書類の作成・配布の負担を軽減するほか、ペーパーレスによる経費削減も図る）に取り組みます。

12月の議会で決まったこと

提出された議案とその結果

平成25年12月の定例会は、12月2日から17日まで、16日間の会期で開かれました。市長から予算関連は3件、条例は8件、その他が8件、全部で19件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

また、議員から議案1件、動議1件が提出されました。審議の結果は次のとおりです。

<市長が提出した議案>

議案番号	議案名	結果
議案第67号	平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第68号	平成25年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第69号	平成25年度鹿嶋市大野区域水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第70号	鹿嶋市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第71号	鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第72号	鹿嶋市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第73号	鹿嶋市介護保険条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第74号	鹿嶋市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第75号	鹿嶋市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	鹿嶋市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	鹿嶋市大野区域水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	大野北いきいきふれあいプラザの指定管理者の指定について	原案可決
議案第79号	鹿嶋市特別養護老人ホームウェルポート鹿嶋の郷ほか2施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第80号	鹿嶋市大野潮騒はまなす公園附属施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第81号	財産の取得について	原案可決
議案第82号	鹿嶋市監査委員の選任について	原案同意
報告第8号	専決処分について(平成25年10月1日から平成25年11月30日までの間における市長及び副市長の給与の減額に関する条例)	原案承認
報告第9号	専決処分について(平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第5号))	原案承認
報告第10号	専決処分について(平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第6号))	原案承認

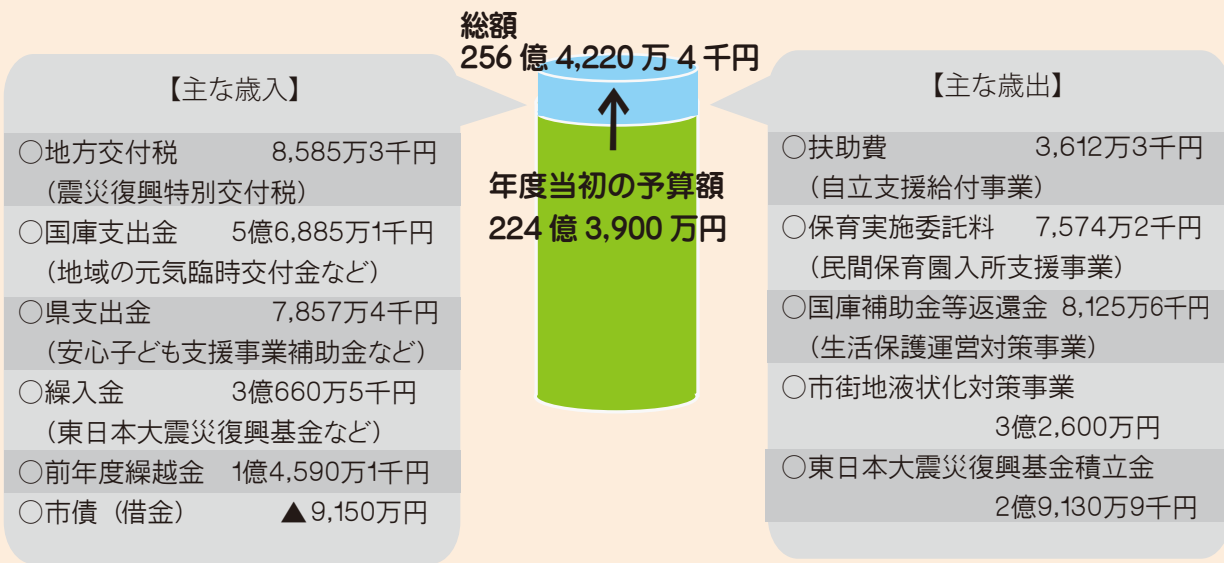
<議員が提出した議案等>

鹿嶋市議会議員7名の公職選挙法違反の事犯に関する調査特別委員会設置に関する動議	否決
第2号議案 内山一議員の副議長不信任に関する決議	原案可決

可決

議案名 議案第67号 平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第7号)

内容 歳入歳出ともに11億456万6千円を追加し、総額256億4,220万4千円とすることを可決しました。



可決

議案名 議案第78号 大野北いきいきふれあいプラザの指定管理者の指定について

内容 大野北いきいきふれあいプラザ(旧大野北幼稚園)は、児童クラブや高齢者の生きがづくりなどの事業を実施しています。平成26年4月から31年3月までの5年間、社会福祉法人慈眼福祉会が管理運営をすることを可決しました。同法人は大野めぐみ保育園や大野ひかり保育園なども運営しています。

可決

議案名 議案第79号 鹿嶋市特別養護老人ホームウェルポート鹿嶋の郷ほか2施設の指定管理者の指定について

内容 特別養護老人ホームウェルポート鹿嶋の郷、デイサービスセンターウェルポート鹿嶋の郷、障がい者通所施設松の木学園の3施設を、平成26年4月から31年3月までの5年間、社会福祉法人鹿嶋市社会福祉協議会が管理運営することを可決しました。

可決

議案名 議案第80号 鹿嶋市大野潮騒はまなす公園附属施設の指定管理者の指定について

内容 はまなす公園の展望塔やプラネタリウムなどの管理運営を、平成26年4月から28年3月までの2年間、特定非営利活動法人はまなす楽遊会(はまなすらくゆうかい)が行うことを可決しました。同会は、社会教育や文化・芸術、子どもの健全育成などの幅広い分野で活動しているNPO法人です。

同意

議案名 議案第82号 鹿嶋市監査委員の選任について

内容 鹿嶋市の財務に関する事務の執行と事業の管理を監査する監査委員2名のうち、1名は有識者から選任し、もう1名は議員から選任します。これまで有識者として選任されていた委員が平成25年11月末日で退職したため、新しい委員として次の者を選任することに、議会は同意しました。
氏名 池田 治(いけだ おさむ)
住所 鹿嶋市宮中2332番地124

総務企画委員会

審査した議案

議案第70号 鹿嶋市税条例の一部を改正する条例

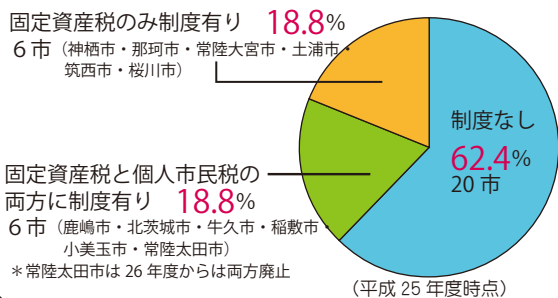
個人市民税の前納報奨金を廃止

今回の改正は、個人市民税の前納報奨金制度を廃止するもので、制度発足

当時からの社会情勢も変化し、納付手段の多様化もあって自主納付に対する意識が浸透していること、また、給料等から天引きされる特別徴収納税者については適用外であり、均衡を欠いていることなどがその理由です。委員からの質問は、次のとおりです。

問 報奨金の交付実績は、平成25年度の個人市民税の報奨金交付額は、759万5千円。
問 報奨金制度を廃止する税は何か。

【前納報奨金制度の県内32市の状況】



答 個人の市民税のみで、固定資産税については継続する。

討論はありませんでした。採決の結果、委員全員が原案のとおり可決すべきであるとなりました。

文教民生委員会

審査した議案

議案第71号 鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第72号 鹿嶋市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
議案第73号 鹿嶋市介護保険条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
議案第78号 大野北いきいきふれあいプラザの指定管理者の指定について
議案第79号 鹿嶋市特別養護老人ホームウェルポート鹿嶋の郷ほか2施設の指定管理者の指定について

子育て支援策をしっかりと行うよう意見

議案第71号は、地方税法施行令などの一部改正に伴って、引用している法律との整合性を図るものです。

議案第72号及び第73号は、平成25年6月に改正した延滞金の利率や軽減措置の適用期間の経過措置について改めるもので、計算方法の質問をしました。

答 納期限を迎えていた分について、これまででは、14・6%の特例率の適用はなかったが、平成26年1月からは特例の率を適用する。

議案第78号は、社会福祉法人慈眼福祉会を指定管理者とするものです。委員は、放課後児童クラブなどの利用人数及び利用方法について質問をし、特に、子育てのしやすい環境を整えることは重要であるとして、その施策をしっかりと行うよう意見をしました。

議案第79号は、社会福祉法人鹿嶋市社会福祉協議会を、ウェルポート鹿嶋の郷ほか2施設の指定管理者とするものです。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について、委員全員が原案のとおり可決すべきであるとなりました。

【大野北いきいきふれあいプラザの利用者数】

施設名	利用者数 (延人数)	
	平成24年度	平成25年度 (11月末日現在)
放課後児童クラブ	7,218人	5,676人
ひよこサロン	1,574人	1,235人
いきいきサロン	2,923人	1,833人

環境経済建設委員会

審査した 議案

議案第74号 鹿嶋市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第75号 鹿嶋市下水道条例の一部を改正する条例
議案第76号 鹿嶋市水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第77号 鹿嶋市大野区域水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第80号 鹿嶋市大野潮騒はまなす公園附属施設の指定管理者の指定について
議案第81号 財産の取得について

消費税増で水道料金が引き上げ 生活負担を考慮するよう意見

議案第74号から議案第77号については、いずれも消費税法の一部改正による使用料や料金などの消費税額を引き上げる条例であり、特に水道料金などの改定については高齢者世帯への影響も大きく、値下げの努力など生活負担への考慮をするよう意見をしました。

議案第80号は、管理者を公募し、応募のあったNPO法人「はまなす楽遊会」を指定管理者として指定するものです。同法人への委託は初めてです。

議案第81号 財産の取得については、ト伝の郷運動公園用地として6629平方メートルを購入するものです。

討論はありませんでした。

採決の結果、議案第74号から議案第77号、議案第80号及び議案第81号については、委員全員が原案のとおり可決すべきであるとなりました。

さらに、議案第67号平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算（第7号）に計上された内容に関連して、液状化対策に係る工法について、本市で検討している「地下水位低下工法」の調査をしました。委員からの質問などは次のとおりです。

問 近隣他市の同工事の効果、サンプルなどの情報がほしい。

答 近隣では、潮来市で実施している。資料を用意し、説明の場を設ける。

問 調査は、何力所でやるのか、その予算額は。

答 調査は5力所を予定し、補正予算への予算計

【検討中の液状化対策の工法は？】

検討しているのは「汲み上げ井戸方式の地下水位低下工法」。地下水を汲み上げて水位を低下させることで液状化でない地層を厚くする工法で、ほかに「自然流下による地下水位低下工法」がある。

汲み上げ井戸方式は自然流下方式が困難な場合に用いられ、自然流下方式よりもランニングコストが高い。

上は3力所分で、2億8320万円を計上した。

また、場所によって液状化の状況も違うので一つの工法に捉われずに検討すべき、などの意見をしました。

検討の結果、引き続き調査が必要であるため、継続して調査していくこととなりました。

予算決算常任委員会

審査した議案

- 議案第67号 平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第7号)
- 議案第68号 平成25年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第69号 平成25年度鹿嶋市大野区域水道事業会計補正予算(第2号)
- 報告第9号 専決処分について(平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第5号))
- 報告第10号 専決処分について(平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第6号))

不法投棄への十分な対策を要請

議案第67号 平成25年度鹿嶋市一般会計補正予算(第7号)についての委員の質問などは次のとおりです。

討するが、海水浴場の開設中は公平な負担のご理解をお願いしたい。

問 平井海水浴場は、犬の散歩のために少しいの間だけ駐車場を利用して、同じ500円の駐車料金を払わなければならない。配慮はできないか。

答 駐車場の管理や整地、ごみの処理費用など開設費用がかかっているため、駐車料金をいただいている。地元の要望として検

問 不法投棄監視カメラの購入は、リースしていただくのを購入するのが。その目的や考えは。

答 不法投棄が見受けられるところへすぐに設置できるよう、新たに購入。目的は抑止だが、投棄があった際は、追跡が可能になる。

問 深刻な問題だと思っております。十分な対策を望む。

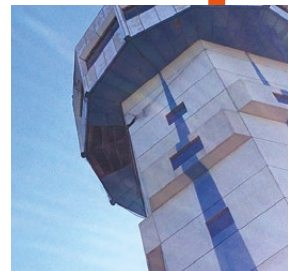
問 三笠幼稚園の樹木伐採と、伝・塚原館跡確認調査、民族資料整理の委託先はどこか。

答 三笠幼稚園の樹木伐採は、これから本見積をとる段階。伝・塚原館跡確認調査については、参事見積書を文化スポーツ振興事業団から、民族資料整理については鹿行文化研究所からしている。

問 鹿行文化研究所というのは、どんな組織か。代表者は誰か。また、文化スポーツ振興事業団が直接調査をやるのか、それとも事業団からどこかに再委託するのか。

【台風26号などの被害】

被害の内容	件数
通行止め	25カ所
土砂崩れ	102カ所
床上浸水	29棟
床下浸水	48棟



△10月の台風で被害を受けたはまなす公園の展望塔

答 鹿行文化研究所は市内在住の個人で、発掘などの調査をしている。代表者については後日報告したい。文化スポーツ振興事業団は、新たに人員を採用して対応する。

問 特産品の開発のために2名雇用している。具体的な内容は。

答 惣菜やお菓子、地ビール開発の提案を受けている。自信をもって売り出せる商品開発に努めたい。

議案第68号は繰越金を財源とし、保険給付金350万円、諸支支出金135万円を計上したものです。

議案第69号は、財源の組替えて企業債4000万円を減額、出資金4004万円を増額したものです。討論はありませんでした。採決の結果、議案第69号から議案第67号は、委員全員が原案のとおり可決すべきであるとしました。

続いて、台風26号などの被害復旧のために支出した報告第9号及び報告第10号について審査を行い、市の被害状況について質問をしました。

討論はありませんでした。採決の結果、報告第9号及び報告第10号は、委員全員が原案のとおり承認すべきであるとしました。



これが知りたい!

一般質問

一般質問は、私の深い事柄について掲載した内容は、

たちの生活にかかわりて質問するものです。質問者本人がまとめました。

詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「録音中継」をご利用ください。



田村 遠渡丸 議員

市長の5期目の公約は

Q 田村 鹿島開発の基本に目を向けていただき、5期目の公約として、市民に伝えるべきと思う。市長の本音を尋ねる。

農工商全先進都市かしまを

A 市長 鹿島開発から50年。鹿島開発のこれからの50年を構想していく段階。商業や観光の活性化はもちろん、生業としての農業や漁業、日本トップの大企業を中心として日本にここだけの「農工商全先進都市かしま」をつくるチャンス。
鹿嶋の自然環境や歴史文化、先進工業、地元の生業が元気に息づき、若者の顔が活気に満ちている鹿嶋をつくっていききたい。

市道0102号線（総合福祉センター前から南北への道路）の進捗は

Q 田村 市長は3期目に、1工区は平成22年度開通と言っていたが、休止していると思う。現在の進捗状況と26年度の事業計画は。



用地取得に努めている

A 建設部長 今年度からは社会資本整備総合交付金を活用し、5カ年事業として事業を進めている。1工区は約760メートル、2工区は約778メートルで、約8割の進捗である。
未だ用地取得に至っていない所が一部ある。協力が得られるように、今後も誠心誠意交渉に努めていく。

Q 田村 2工区から工事をすすめてはどうか。

A 建設部長 2工区についても用地買収に至っていない所が一部ある。すでに用地の協力をいただいた方々の思いや土地利用の状況を考慮すると整備の必要性があると考え、26年度には2工区内の一部の工事に着手する調整を進めている。

政治倫理について

Q 田村 公職に就いている者が、物を配りながら戸別訪問を繰り返していると、市民の方から通報を受けている。鹿嶋市選挙管理委員会はどうのように捉えているか尋ねる。

A 選挙管理委員長 選挙の有無にかかわらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは名義のいかんを問わず特定の場合を除いて禁止されている。

選挙管理委員会としては、公職選挙法の趣旨にのっとり、公明かつ適正な選挙の執行ができるよう、引き続き選挙に関する啓発、周知に努めていく。

- 【こんな質問もありました】
- ・内田市長の16年間の総括
 - ・粟生浜雨水幹線の下水道復旧工事
 - ・鹿嶋病院及び小沼建設の東側の道路整備の要望



△市道0102号線の2工区として予定されている道路

震災復興計画の達成状況は

Q立原 震災復興計画は、現在85%の進捗となっているが、計画期末の達成状況の見込みと課題について尋ねる。

「復興から発展」へ

A市長 議会の協力をいただきながら策定した震災復興計画は、計画期間が残り3ヶ月となった。

この間、復旧・復興対策としてのライフラインの整備、市民生活の再建を図るための生活支援、次の災害への備えとしての災害に強いまちづくりなど、本年9月現在で約85%の進捗率である。

今後は復興から発展へと展望しながら、震災前以上に活気のある、より安心安全なまちづくりに取り組んでいく。

復興交付金事業は、神宮駅周辺地区や鉢形地区、平井東部地区など市内5地区における液状化対策について、いかにスピード感をもって地域住民の同意をいただきながら効果的に進めていけるか。さらに、高松地区における復興まちづくり事業をいかに取り組んでいくかについては、復興庁をはじめとする関係省庁との

調整を十分に行い、事業化と財源確保を図っていく必要があると考えている。
交付金事業については震災復興計画とは切り離して、継続して取り組んでいく。



立原 弘一 議員

校舎の耐震化に安堵

Q立原 校舎の耐震化を訴えてきて、市も迅速に取り組んだおかげで子どもたちを守れた。本当によかった。震災復興には議会と市が「鹿嶋市、鹿嶋市民のために何とかしなければ

ならない」という思いで、一つになって取り組んできた。感謝したい。平井東部の損失補償問題にしても、15年来の大問題を協働で乗り越えた。しかし、現職の県議会議員の応援に、同僚議員が一緒にかりんとうを配って歩いたという。市民への申し訳が立たない。議会の自主解散をもってその責任をとる必要があると考える。この調査はしっかりやるべきだ。

決断すべきときを見極めて

A市長 市長は10年先、30年先、50年先のことを考えるべきだと思う。そして、あのときやっておいてよかったと、将来に評価されるものだと思う。そういう思いで自問自答しながら判断してきた。学校の耐震化は中国で起きた地震の報道を見て、今決断しなければ、の思いで取り組み始めた。次はどうするのだというところは、しっかり市民の皆さんや議員の皆さんに考えてもらわなければ。目先のことで動いては絶対にならないと考える。



出頭 克明 議員

豪雨時の危険箇所マップは

Q 出頭 冠水する場所や崖崩れする場所の災害マップはあるか。あれば、いつ作成されたものか。

マップ作成の必要を感じている

A 建設部長 高台部やその縁辺部を含めた市内の各所で冠水や崖崩れが起きている。パトロール時に土のうや仮設ポンプの設置、通行止めなどの対応をしているが、突発的なものは予見も難しい。洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップと歩調を合わせて危険性を周知するマップ作成の検討を進めたい。

Q 出頭 国道51号のカシマサッカースタジアムから大小志崎までの間で4カ所の冠水があるが、国に対して改善要求をしているのか。

A 建設部長 国道、県道の冠水に関する内容については、これまでも改善の要望をしてきている。対策を順次進めてもらっているところもある。今後とも改善、対策に向けた協議要望を国へ積極的に行っていく。

Q 出頭 冠水するところは、毎回決まって同じ場所である。今後の対策は。

A 建設部長 抜本的な対策は、鹿島灘や北浦への雨水を流す流末の整備や改修が必要と考える。応急的な対応としては、調整池の整備を検討していきたい。

また、道路側溝などに流れ込む雨水を減らすことで、浸水害を軽減することを目的として、一般住宅を対象に「雨水貯留浸透施設等設置補助金制度」を創設した。制度のPRにも努めていく。

今後の税収の予想と対策は

Q 出頭 市の税収も今後落ち込むと予想するが、将来の予想数値と対策は。

税収などの歳入増を図る

A 企画部長 今後の市税の予想数値は、税収総額について平成25年度は111億2100万円を見込んでいる。平成

29年度は、固定資産の評価替えや償却資産の大幅減によって100億6100万円。これまで、行財政改革の推進による歳出の削減をはじめ、財政調整基金への積立や市債残高の縮減に努めてきた。

基金や地方債を活用し、市民福祉サービスの水準の確保に努めるとともに、受益者負担の適正化の観点から使用料や手数料などの見直し、企業誘致の推進などを展開し、税収などの歳入増に努めていく。

御船祭への市のかかり方は

Q 出頭 御船祭が平成26年9月に行われるが、多くの方々に見に来てもらうための市のかかり方は。

観光客受け入れの整備を

A 環境経済部長 この御船祭を好機と捉え、より一層の鹿嶋市のPRと集客を図りたい。ポスターの配布、東京・大阪間のバスへの広告掲示、観光客受け入れのためにトイレなどの環境整備を進めているほか、観光キャンペーンにおいてPRを推進している。

【こんな質問もありました】

冠水等に関して、流末や側溝などの計算基準などについての考え方は

急増する耕作放棄地の対策は

Q 山 1年以上上作付けされず、今後も耕作される見通しのない耕作放棄地の農地が急速に増加している。耕作放棄地の現状と対策の実績は。

市単独で整備活用事業を実施

A 環境経済部長 全体の耕作放棄面積は、24年度の調査結果では、水田が42・6ヘクタール、畑地が41・7ヘクタールである。

対策として市が農地復元に関する整備を農業公社へ委託しており、事業完了後に継続して耕作することを条件に復元に要する費用を助成している。5年間の実績は、水田が2・3ヘクタール、畑地が7・3ヘクタールである。

Q 山 国の事業である「耕作放棄地再
利用緊急対策事業」の実績と「い
ばらきの畑地再生事業」の活用の
見通しについて尋ねる。

A 環境経済部長 国の事業については、手続きの負担が発生することもあり、利用者はいなかった。市の制度のほうは農家の負担が少なく、利用しやすいと考

えるので、継続していきたい。
「いばらきの畑地再生事業」については、国の事業と併用していくものであり、5年間以上の耕作の義務など要件も多い。今後、検討していきたい。

Q 山 農業生産基盤の整備についての現状は。また、未整備の畑地の基盤整備の計画と方針は。

A 環境経済部長 水田は、1148・4ヘクタールの基盤整備が完了。畑地は三カ所で行っている。これらの農地を11の土地改良区などで維持管理を行っている。基盤整備の対象は、農業振興地域整備計画画書において定めている農用地区域である。

未整備地区である沼尾、須賀、田野辺、林、志崎地区では場整備



山口 哲秀 議員

を検討していく計画であり、地権者の合意形成による土地の集約は当然である。また、整備後の耕作を担う農業者の育成、受益者負担への理解、さらに他の整備地区における耕作放棄地の現状などの条件整理がある。地域の意向をもとに検討する。

健康マイレージ制度の導入を

Q 山 本市の平均寿命は、国より約2年も短く、働き盛りの年代で亡くなる早世の割合が高い。しかも平成20年から3年間、一向に改善がされていない。

健康マイレージ制度の導入や健康奨励金などの支給制度を創設してはどうか。

健診受診率への結びつけが課題

A 市民福祉部長 健康マイレージ制度は、健康づくり体制と実施している自治体の成果を見極め、調査研究をしていきたい。また、健康奨励金などの制度は、現在、国民健康保険加入世帯の人間ドック受診時に助成を行っている。

【こんな質問もありました】

- ・市民の健康づくりの実績と課題
- ・健康かしま21計画



内山 一 議員

市長の16年の市政運営を
ふりかえって

Q 内山 市民音頭「輪になって鹿嶋」は、多くの市民に受け入れられ楽しい交流になっていると思う。

平井東部の区画整理事業は市施行になったし、学校も整備され避難所にも指定された。病院の医師不足にも補助金等で対処している。総合点では及第点をつけるが、市長の思いは。

10年後のかしまづくりを

A 市長 市民音頭は心のよりどころ、大事な触れ合いだと思って続けさせていきたい。

就任以来、激動の変化を遂げた。行財政改革に始まり、社会教育体制の改革、大野区域の生活環境の整備、サッカーワールドカップの開催や平井東部土地区画整理事業の市

施行など、これら全てが、これからの鹿嶋づくりの基礎となると思う。皆さんのご理解をいただきながらかじをとってきた。また、市民協働によるまちづくりという手法を駆使しながら、全国有数の先進的な事業も展開してきている。

今後は変わらぬ理念である農工商両全を追求しながら、これからの鹿嶋開発50年を展望し、総合計画にうたう10年後の本市の将来像である「For my community」ときめきホームタウンかしまづくりに全身全霊を注ぐ。

公職選挙法をどう捉えているか

Q 内山 クリーンな選挙で公職選挙法を守って選出される人がふさわしいと思うのだが、今、起きている「物を配る」ことへの感想は。

事前運動の禁止など守るべき

A 市長 地位による選挙運動の禁止、事前運動の禁止、そのとおりだと思う。守るべきである。

議員に期待するものは

Q 内山 議員は、議会として市民に託され、市政を監視する、市政を一緒に担う、市政発展に協力するのが仕事と認識するが、市長が議員に期待するものは何か。

議会と市の両輪でのまちづくり

A 市長 市長とは、市民のために働くという意識が最優先であるべきで、議員も同じだと思う。

議会と市との両輪でまちづくりは進んでいく。そして市民の理解度も高まっていき、深まっていく。

震災被害への対応時、秩序ある助け合い活動が行われた。みんなが力を合わせると、大きな力を発揮できる。ふだんは感じなくても、何かあったときには助け合う。日本人としての伝統をしっかり守ってきた我々の、この地域コミュニティが脈々とつながっていると感じる。小さいときからこの地域のつながりをいかしていきたいと痛切に思う。

オープンデータ化の取り組みを

Q 佐藤 行政が持つさまざまなデータをオープンデータ化し、だれもが自由に活用しやすい環境を整えてはどうか。

人口や住所別年齢情報なども公開していくべきでは。

今年度中に対応する予定

A 企画部長 いばらきデジタルまっぴろで^{*2}これまで提供しているデータは、加工に不向きな形式であった。

今年度は、閲覧者が利用・加工しやすいCSV形式に対応したシステムに更新したので、改善される見込みである。

いばらきデジタルまっぴろは、鹿嶋市のホームページからもアクセスできる。

*1 公共情報を、コンピュータ処理できるデータ形式で公開すること。行政の透明性の向上、公開データを活用したビジネスの展開などが期待されている。

*2 茨城県と県内市町村が共同で整備運営し、それぞれが保有する地図情報を、インターネットで公開する地理情報システム。

*3 データを「(カンマン)」で区切ったファイルで、表計算ソフトなどでの活用が容易なもの。

自動交付機のほうが利便性が 高いのでは

Q 佐藤 土日の商業施設での窓口業務をやめ、代わりに自動交付機を設置したほうが市民にとって利便性が高くなると思うが。

また、職員の人件費も含めると1通あたりの発行コストはどれほどか。民間の発想を取り入れるのであれば、他の業界での活動も考えていくべきではないか。

コンビニ交付の導入も検討中

A 市長 市民ふれあいサービスコーナーについては、市民サービスの向上を図ることと、市役所の体質改善や職員意識改革を図る目的もあって設置した。

今後の窓口サービスについては、平成27年度に導入される個人番号制度によって大きく変貌すると想定している。個人番号を活用してコンビニ交付の導入を検討しているので、



佐藤 信成 議員

あわせて自治体のサービスのあり方について検証していく。

A 市民福祉部長 年間の経費は、機器借上げに約110万円、人件費は457万円。手数料収入は年間で約35万円であり、平成24年度の発行実績である3466件から計算すると、1通あたり1475円になる。

学校体育館のトイレ洋式化は 早急に対応すべき

Q 佐藤 学校体育館は非常時には避難所として活用する。トイレが洋式化されていないと、足の不自由な方などが避難をためらう。早急に改善するべきでは。

今年度中には終了する予定

A 教育長 学校のトイレは、体育館だけでなく校舎も含めて補正予算で計画し、現在工事中。今年度中に終了するよう進めている。

- 【こんな質問もありました】
- ・フェイスブックの活用と情報化計画
 - ・オープンガバメントの取り組み
 - ・自動交付機に対応できない諸証明の割合
 - ・AEDの利用率向上の対策

これが知りたい！ 一般質問

公立の認定こども園の進捗状況は

Q 桐澤 平成27年の開所を目指している、平井保育園と平井幼稚園を統合する認定こども園の施設の規模や工事などの進捗状況を尋ねる。

**現場からの意見も取り入れ
実施設計の作業中**

A 市民福祉部長 現在、来年度の建築に向けて設計作業を行っている。ゼロ歳児から就学前までの児童に対して、最適な教育と保育を提供していくためにふさわしい施設となるように設計している。建物は1400平方メートル程度である。



桐澤 いづみ 議員

Q 桐澤 現在の平井幼稚園や平井保育園の施設について、どのような活用を考えているのか。

A 教委事務部長 平井幼稚園の跡地利用は考慮中である。散在している教育施設や今後の教育施策、全庁的な視点で総合的に勘案し、早期に有効活用を図りたい。

A 市民福祉部長 平井保育園の跡地の活用もまだ明確な利用方針や計画はない。貴重な市有地であるので、地域の発展や方向性なども含めて多面的に検討していきたい。

婚活事業の成果は

Q 桐澤 婚活事業の成果を市はどのような受け止めているか。現状と課題を含めて尋ねる。

成婚の実績もできている

A 企画部長 カシマ・インフォメーション・サロンでの事業は認知度も上がり、成婚の実績もできたと聞く。パーティーではセミナーも開催し話のきっかけとなる話題提供も行う。課題は女性参加者のほうが少ないこと。鹿嶋・神栖市以外の近隣にも対象を広げ

るほか、女性の多い職場へのダイレク
トメールも行っている。



△楽しそうなポスターづくりも大切な要素

A 市民協働部長 まちづくり市民懇話会の活動で、婚活イベントの開催に関する「鹿嶋市をもっと楽しくする実行委員会」が組織され、交流事業を実施した際に多くのカップルが誕生した実績がある。単発事業だったことなどが反省点であるため、まちづくりに取り組む団体なども課題を共有し、交流の機会の創出を支援したい。

【こんな質問もありました】

- 子ども子育て会議の事業計画など
- 出会いサポートセンターなどの活動状況

発達障がい者の就労支援は

Q 小古井

鹿嶋市総合計画の中に「障がい者雇用への支援を図る」とあるが、どのような支援か。



小古井 芳一 議員

A 市長

関係機関と協力しながら実施

ハローワークや障がい者就労支援事業所などの協力を得ながら、事業を展開している。

啓発事業としては、障がい者雇用月間である9月にFMかしまと協力して、障がい者就労支援番組を放送。番組内容は広報かしまにも掲載して広く市民にお知らせするほか、1月に障がい者雇用に関するセミナー、2月に就労支援施設の合同販売会を開催する。

がん検診率向上の施策は

Q 小古井

がん検診率向上のために「がんがどういふ病気であるか」の講演会を開催してはどうか。

広く市民へ情報提供を行う

A 市民福祉部長

対象者が主体的に生活習慣改善に取り組めるようアプローチし、定期的なセミナーなどを開催している。今後は科学的根拠に基づく最新のがん予防や治療に関する情報について、専門医などによる講演会を開催していく。

命の尊さを教育現場で教えてほしい

Q 小古井

かわいがっていた捨て猫が殺処分され、その現実を知った小学6年生が書いた作文「78円の命」その影響が広がっている。鹿嶋市の小中学校の道徳教材として活用してはどうか。また、犬猫の避妊、去勢手術助成金制度のさらなる活用の推進を望む。

学校に紹介し検討してもらおう

A 教育長

命の大切さは道徳教育においても一番重要な課題だと思ふ。道徳の授業は年間の指導計画を

作成し、その資料はいろいろなどころから選んでいる。提案された作文は小中学校に紹介し、検討してもらうようにしたい。

A 環境経済部長

平成18年度から始めた避妊、去勢手術の費用助成は、その実績も年々増えている。

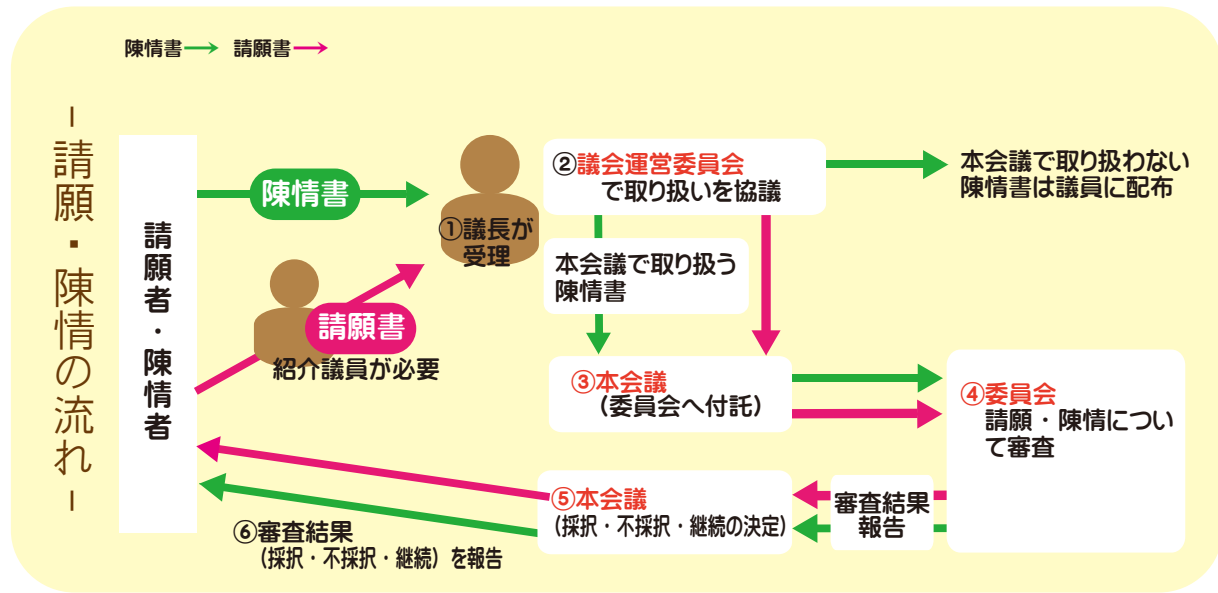
飼い主には終生飼養の責任がある。最後まで愛情と責任を持って飼っていただくことが大切である。



△笠間市の茨城県動物指導センター。茨城県が、犬の殺処分数全国ワースト1なのをご存知だろうか。

- 【こんな質問もありました】
- ・企業向け障がい者の就労支援セミナー
 - ・学校でのがんへの認識を深める教育
 - ・診療報酬明細書を活用した医療費の適正化や医師会などの連携の状況

あなたの声を市政に！「請願」と「陳情」



「請願」と「陳情」は、市民の皆さんが市議会を通じて意見や要望を市政や国政に伝える制度で、年齢や資格などの制限はありません。

請願書の提出には1名以上の紹介議員が

必要ですが、陳情には紹介議員は必要ありません。

詳しくは議会事務局までお問合せください。

【請願書の記入例】

表紙	内容
紹介議員 氏名.....に関する請願 請願者 住所 氏名 印 <small>*連名のときは名簿を添付し、表紙は「代表者名 外〇名」と記載してください。</small>に関する請願 要旨..... 理由..... 平成 年 月 日 住所 氏名 印 鹿嶋市議会議長 ○○○○様

【陳情書の記入例】

表紙	内容
.....に関する陳情 陳情者 住所 氏名 印 <small>*連名のときは名簿を添付し、表紙は「代表者名 外〇名」と記載してください。</small>に関する陳情 要旨..... 理由..... 平成 年 月 日 住所 氏名 印 鹿嶋市議会議長 ○○○○様

平成25年
12月議会から

一般質問の「録音中継」を始めました。



鹿嶋市議会のホームページからご利用いただけます。

きかせて！ あなたの夢



鹿島中学校1年
あさの ゆり
浅野 友里さん

(取材：山口、宇田)

私は、薬剤師にな
るという夢を持って
います。

師を目指すようにな
りました。

きっかけは、母が、薬
剤師や看護師などの
仕事を私に紹介して
くれたことでした。

今は、目の前にあ
る学校の勉強や部活
などを頑張ってい
ます。

私は、薬剤師さん
が薬を調合する姿を
意識してみるように
なり、それがかっこい
いと思えました。ま
た、自分の仕事で人
を救えるというのも
素敵だと感じ、薬剤

私が、鹿嶋市議会
さんをお願いしたい
ことは、通学路の整
備です。道がきれい
になれば鹿嶋市はさ
らによくなると思
います。

皆さんが、安全に通学で
きる道路づくりに努めていき
ます。ご協力ありがとうございます。
い

議会広報委員会の活動

「とびら」ができるまで

議会広報委員会では、「伝わる広報」を目指し、新しいスタイルの広報紙をつくるため、平成25年から調査を行ってきました。

11月12日には、議会広報の先進地視察として、東京都あきる野市議会と全国市議会議長会の調査広報部を訪問しました。



△市役所の玄関前での調査。
ご協力ありがとうございました。

あきる野市議会では、手にとってもらえる表紙づくりや読みたいと思わせる記事の工夫などについて学び、全国市議会議長会では、全国の市議会から寄せられるさまざまな議会広報紙を目にして、多くの刺激を受けました。

また、紙面構成の参考とするため、市役所の玄関前で市民の皆さんからの意見を聴いたりする調査も行いました。

題名の「とびら」は、この広報紙が市議会情報への入り口のとびらであり、また、私たちのまち鹿嶋の明るい未来がみえるような、そんな希望を抱けるとびらを、市民の皆さんと一緒に開けていきたい、と願って名づけたものです。

編集後記



議会広報委員会
委員長 小古井芳一

寒い日が続く中にも、少しずつ春の気配がうかがえるようになりました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

新しい議会だより「とびら」をお届けしました。生まれたばかりの広報紙です。ぜひご感想などをお寄せいただき、一緒に育てていただけたら幸いです。

今後も、分かりやすい広報紙づくりを目標に、精一杯がんばりますので、どうかよろしくお願いたします。

議会広報委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小古井 芳一 |
| 副委員長 | 佐藤 信成 |
| 委員 | 小池 みよ子 |
| 委員 | 山口 哲秀 |
| 委員 | 出頭 克明 |
| 委員 | 宇田 一男 |